

認知症に関する活動計画（概要）

静岡県作業療法士会では、学術部内に認知症班として位置付けて活動している。認知症班にはSIGとWGがあり、それぞれ目的を持って活動している。SIGではアップデート研修会やステップアップ研修会を開催している。また、今後静岡版のシラバスを作成し人材育成のシステム化を計画している。WGでは、研修会の実施や当事者の方を交えた交流、家族会のつどいへ参加をしている。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

昨年度は、静岡駅にて家族会や行政と共同しチラシ配りを実施した。今年度も実施予定。

認知症の人と家族の会との連携事業

2023年度より認知症の人と家族の会-静岡県支部「すぎなの会」に参加させて頂いている。当事者の方との関わりとして「OTタイム」を設けて頂きレクリエーションを実施している。



研修会事業

○アップデート研修

認知症班の班員が講師となり毎年開催。認知症の基礎知識について伝達している。

○ステップアップ研修

毎年テーマを決め外部講師を依頼し実施。

R5年度：結城病院の川口先生に「認知症の人とのコミュニケーション技術について」を実施

R6年度：群馬医療福祉大学の山口先生に「認知症三昧！ 認知症施策の最新動向から、実践的スキル、地域での活動まで」を実施予定。

○ワーキンググループ研修

R5年度：すぎなの会の石田代表、鈴木副代表に講師として参加頂きシンポジウム形式で意見交換を行った。

R6年度：家族会や本人、行政など他団体との研修会を企画予定。

交流会イベント

昨年度新たな試みとして、家族会や初期支援チーム等で活動している会員やこれから活動してみたい会員と交流会を行い情報交換会を実施した。地域で活動してみたい会員の支援ができるように今後も取り組みを行っていく。今年度は家族会の活動に興味を持っている会員を募り一緒に参加した。



情報提供

研修会や家族会のイベントなど、認知症関連の情報を県士会員へ周知をしている。

